

2021年8月1日

国際法学会 2021 年度(第 124 年次)研究大会ご案内

このたび、本年度の研究大会(オンライン)を次の通り開催いたします。
ご多用中と存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ぜひご出席下さいますよう
ご案内申し上げます。

一般財団法人 国際法学会
代表理事 兼原 敦子

開催日 2021年9月6日(月)・7日(火)・8日(水)
方式 ウェビナーにより実施

大会プログラム

共通テーマ「多元化する国際社会における国家主権の再検討」*

第1日 9月6日(月)

◇午後の部(14時～17時30分):全体会合1

「国家主権をめぐる国際秩序の発展」

- | | | |
|-------------------------------------|------------|-------|
| 座長 | 放送大学特任荣誉教授 | 柳原 正治 |
| 1 条約における「主権」 | | |
| | 九州大学教授 | 明石 欽司 |
| 2 開発をめぐる主権の展開と規制の論理 | | |
| | 大阪市立大学教授 | 桐山 孝信 |
| 3 外交実務における国家主権の機能
——サイバーとの関係を中心に | | |
| | 外務省国際法局参事官 | 御巫 智洋 |
| 4 本国法の探究
——国籍と法域 | | |
| | 南山大学教授 | 青木 清 |

理事会(18時～21時)

第2日 9月7日(火)

◇午後の部1(13時～16時):分科会

第1分科会「領域主権の機能変化」

- | | | |
|---|-----------|-------|
| 座長 | 福岡女子大学教授 | 深町 朋子 |
| 1 人権条約の空間的・人的適用における国と人との間の権利義務関係の構築
——国の支配に基づくのか | | |
| | 香川大学講師 | 杉木 志帆 |
| 2 環境損害防止義務の空間的射程 | | |
| | 上智大学教授 | 堀口 健夫 |
| 3 租税に関する国家管轄権と属地主義の射程 | | |
| | 学習院大学教授 | 阿部 克則 |
| 4 公海上での無国籍船取締りが提起する国際法上の課題
——米国による実行の再検討を中心に | | |
| | 海上保安大学校教授 | 下山 憲二 |

* 本共通テーマは、全体会合1、分科会、および全体会合2に適用されます。

第2分科会「国家の権利と個人の権利の相克」

- 座長 早稲田大学教授 古谷 修一
- 1 国家による個人請求権の処理権能
——戦後賠償の理論問題
大阪大学准教授 和仁 健太郎
- 2 外交的保護と個人の地位
——ILC 外交的保護条文を中心に
立命館大学教授 湯山 智之
- 3 国際労働法における規範の柔軟性
——国際経済関係における国家と個人の状況性
西南学院大学教授 小寺 智史
- 4 深刻な人権侵害に対する「標的制裁」
——国際立憲主義の観点をふまえて
東京外国語大学教授 篠田 英朗

第3分科会「紛争解決におけるボーダーレス現象——裁判外紛争解決における国家の役割」

- 座長 神戸大学教授 中野 俊一郎
- 1 シンガポール調停条約の意義と課題
京都大学教授 山田 文
- 2 ADR と国家の紛争解決手続きの共同
大阪経済法科大学准教授 小野木 尚
- 3 国際調停による和解合意の承認及び執行
大阪大学准教授 Beligh ELBALTI
- 4 日本の ADR のグローバル化
日本仲裁人協会副理事長 岡田 春夫

会員総会(16時30分～17時)

◇午後の部2(17時30分～20時30分):全体会合2

<The Honourable Shigeru Oda Commemorative Lectures>

Changes and Evolution in Legal Doctrines Based upon State Sovereignty

Chair Masahiko ASADA, Professor, Doshisha University

- 1 On Different Res: *Res Judicata*, *Res Praescripta*, *Res Interpretata*, *Res Deliberata*
Jean-Marc THOUVENIN, Professor, Université Paris-Nanterre,
Secretary-General of The Hague Academy of International Law
- 2 Absolute Sovereign Immunity as *Lex Lata* and as *Lex Ferenda*
Tomonori MIZUSHIMA, Professor, Nagoya University
- 3 Still Being Dominated? The Ongoing Relevance of Self-determination Inside Sovereign States
Kazuyori ITO, Professor, The University of Tokyo

第3日 9月8日(水)

◇午前の部(10時～13時):個別報告

- | | | |
|------------------------|------------|--------|
| 座長 | 早稲田大学教授 | 河野 真理子 |
| 1 ソブリン債紛争処理の国際法秩序構想 | | |
| | 東京大学准教授 | 中島 啓 |
| 座長 | 慶應義塾大学名誉教授 | 大森 正仁 |
| 2 国際法の展開過程における科学的知見の意義 | | |
| | 近畿大学准教授 | 西谷 斉 |
| 座長 | 東京大学教授 | 石田 淳 |
| 3 ポスト冷戦後の世界は再近代化するか | | |
| | 慶應義塾大学教授 | 田所 昌幸 |

◇午後の部(14時30分～17時30分):公募報告

- | | | |
|--------------------------|-------------|--------|
| 座長 | 明治学院大学教授 | 阿部 浩己 |
| 1 食料への権利の再検討 | | |
| ——社会権における域外義務の議論を手掛かりとして | | |
| | 東京外国語大学教授 | 松隈 潤 |
| 2 入管収容の合法性審査における個別事情の考慮 | | |
| ——欧州人権裁判所判例の発展と課題 | | |
| | 中京大学教授 | 小坂田 裕子 |
| 座長 | 大阪大学教授 | 真山 全 |
| 1 核セキュリティ分野の国際法 | | |
| ——ソフト・ロー活用の一考察 | | |
| | 日本原子力研究開発機構 | 福井 康人 |
| 2 海戦法規の「人道化」 | | |
| ——海上経済戦における展開 | | |
| | 同志社大学助教 | 保井 健呉 |

- * 研究大会（オンライン）につきましては、最初に、同封の「2021年度研究大会（オンライン開催）情報の提供について」をご覧ください。「参加登録ページ」と「2021年度研究大会オンライン特設ページ」への入り方が記載されております。
- * Webによる事前のご登録は、同封の「国際法学会 2021年度研究大会 参加登録のご案内」を参考に、8月31日（火）17時までに期限厳守で必ず行って下さい。参加登録をキャンセルされる場合につきましても、同文書をご参照ください。
- * 2021年度研究大会はオンラインでの開催となることに鑑み、一般会員、名誉会員、維持会員の参加登録料を2,000円としております（学生会員は1,000円）。会員以外の傍聴はできません。
- * 報告用原稿（Oda Lecture）と報告用資料（レジュメ集）は、「2021年度研究大会オンライン特設ページ」からダウンロードすることができます。これらと、報告要旨については、同封の「2021年度研究大会（オンライン開催）情報の提供について」をご参照ください。
- * 会員総会は9月7日（火）16時30分よりオンラインで開催されます。総会では第8回小田滋賞の授賞式も実施されますので、奮ってご参加ください。
- * 懇親会（オンライン）については開催の可否を含め検討を行っております。方針が決まりましたら「2021年度研究大会オンライン特設ページ」にてお知らせいたします。
- * 委員会の全体会合は開催されません。各委員会の個別会合につきましては各委員長の指示に従ってください。
- * 理事会は9月6日（月）18時からオンラインにより開催されます。参加の方法等につきましては、別途事務局より関係各位にご案内いたします。
- * 託児所を利用される場合の補助につきましては、本年度はオンラインでの開催となったことから実施いたしません。
- * 研究大会の実施に関するお問い合わせは、以下にお願い申し上げます。

[大会前日まで]

大会運営委員長 南山大学 山田 哲也

Email: yamatetu@nanzan-u.ac.jp

[大会当日]

株式会社サウンドエイト

国際法学会専用イベントデスク 025-256-8987